宇治市
乳幼児教育・保育支援センター

子どもの「育ち」と「学び」に関わる先生たちをサポートします

乳幼児期は、子どもたちが生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期です。全ての子どもたちが将来に夢と希望を持って、健やかに育ち、輝けるよう、次の基本理念に基づき、乳幼児期の教育・保育のより一層の充実を図ります。

乳幼児期の教育・保育の基本理念

育もう 未来のつぼみ 咲かせよう それぞれの花
「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」

ともに生きて

動植物など他の生命体とも響き合いながら、子どもが現在（いま）を“生き活き”と生きていくための乳幼児教育・保育の取組を推進します。

ともに育ち

子どもの成長は一人ひとりによって異なり、子どもの個性や発達状況を受け入れることが大切です。そのため、乳幼児教育・保育に携わる職員が、子ども同士が育ち合うという視点も大事にしつつ、保護者に寄り添い、共感しながら、支援を進めるなど、質の高い教育・保育を提供するための研鑽に努めます。

ともにつながる

子どもの望みを尊重しながらも、より豊かな園生活を過ごすために、必要な時にはいつでも支援し、全ての就学前施設や小学校をはじめ、専門機関や関係機関など、子どもの成長に関わる機関との連携を図ります。

☆保幼こ小連携☆

子どもの「育ち」と「学び」をつなぎます

○架け橋ブロック（※）による連携・交流事業の実施
- ・小学校の生活科等の教科や学校行事等を通した園児と小学生の交流
- ・授業参観・保育参観等を通した先生同士の交流 など

○架け橋期のカリキュラムの作成・実践・改善のための支援

○保育要録・指導要録の有効活用に向けた取組の実施

（※）就学前施設と小学校をグループ化した連携の枠組み

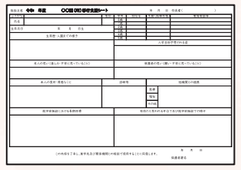
☆発達・子育ち支援☆

一人ひとりの子どもの育ちに応じた支援の充実を図ります

○専門職による園訪問支援
- ・子どもの特性に応じた専門的な支援に係る相談
- ・教育・保育に関する少し気になることに係る相談 など

○移行支援シートの作成・有効活用

○療育施設等関係機関との連携



☆研究・研修☆

先生たちの学びの機会を充実させます

○「教育・保育の質向上」「保幼こ小連携」「発達・子育ち支援」に関する研究の実施
○施設類型を越えて学び合う研修の企画・実施
○各種研修の「保育士等キャリアアップ研修」の指定

研修の詳しい内容はこちらからご覧ください

＜情報発信＞

センターの取組内容について、随時配信していますので、こちらからご覧ください

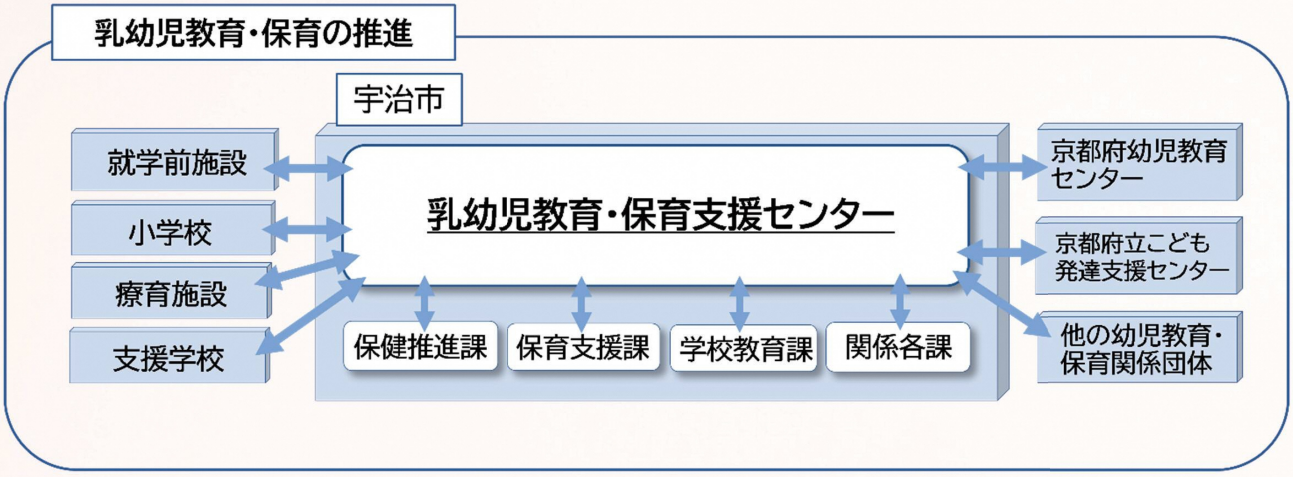
趣旨

宇治市乳幼児教育・保育支援センターは、全ての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築し、乳幼児期の子どもたちの状況や課題を共有するとともに、将来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、次の3つの機能に基づく施策を推進することにより、保育士、教諭等の人材育成を図り、もって乳幼児教育・保育の質の向上に資することを目的として、令和7年4月に開設しました。

＜3つの機能＞

宇治市では、センターにおいて、就学前施設、小学校、療育施設及びその他の関係機関が連携・協働できるようコーディネートすることにより、施策を推進します。

＜連携・協働のイメージ＞



宇治市乳幼児教育・保育支援センター

〒611-0011　宇治市五ケ庄梅林官有地
TEL　0774-20-8990
FAX　0774-39-5573
✉　nyuyojicenter@city.uji.kyoto.jp

宇治市　乳幼児センター